

授業実践（10）中学校1年生「ロレンゾの手紙」

1 主題名 友達のためになること【内容項目B一(8)友情、信頼】

2 教材名 「ロレンゾの手紙」（出典『読み物資料とその利用―「主として他の人とのかわりに関すること」―』文部省編）


3 教材のあらすじ

会社の金を持ち逃げした疑いを掛けられ警察に追われているロレンゾという友達に対し、アンドレ、サバイユ、ニコライの3人の友達がどのように対応していくか悩み、葛藤していく。本当の友情について考えることができる資料である。

4 ねらい

よりよい友達関係をつくるために大切なことに気付き、友達のためになることを考えながら行動しようとする態度を養う。

5 展開

段階	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 生徒の発言(・) 補助発問(●)
自己を見つめる	<p>1 本時の学習内容を知る。</p> <p>◆事前にとったアンケート結果を紹介し、「友達のためになること」を考えるための導入とする。</p>	<p>○「友達」に対する思いについて確認しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>“友達のためになること”とは、どんな言動をすることだと思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしく接する ・八つ当たりをしない ・困っているときには声をかける ・いやなことを言わない ・ありがとうを言える関係 ・ダメなことをしていたら、ちゃんと“ダメ”と言えること ・たくさんほめる ・ほかほか言葉 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今日は・・・</p> <p>“友達のためになること”について考えましょう。</p>  </div> </div>
	<p>2 資料を読んで、話し合う。</p> <p>(1) ロレンゾの噂を聞いたときの3人の気持ちを考える。</p> <p>◆3人がロレンゾのことを心配しているが、疑いの気持ちもあることを押さえるために、警察から追われているという話を聞いた時の気持ちを考えさせる。</p> <p>(2) ロレンゾが家に来たときの3人の対応を確認する。</p> <p>◆3人の考えを知るために、要点を整理して板書する。</p>	<p>○ロレンゾが警察に追われているという話を聞いたとき、3人はどんなことを思ったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信じられない。何かの間違えであってほしい。 ・なんで、そんなことしたんだろう。 <p>●3人は、「ロレンゾはそんなことはしない！」と強く思っていたでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうでもない。 ・少し疑いの気持ちもある。 <p>○夜中、ロレンゾが家に来た場合、3人はどのように行動しようと考えていましたか。</p> <p>アンドレ いけないかもしれないけど、お金を持たせてだまって逃がしてやる。</p> <p>サバイユ 自首を勧めて、本人が納得しない場合はそのまま逃がしてやる。</p> <p>ニコライ 自首を勧めて、本人が納得したら、一緒に警察に行く。だめだったら、警察に知らせる。</p>

自己を見つめる

自己の考えを広げ、深める

(3) 自分がロレンゾの友達だったら、どの考えに近いか考える。

【書く活動①】

◆考えを可視化するために、ワークシートに自分の気持ち、付箋に理由を書かせる。ネームプレートで心のものさしに意思表示させ、付箋は3通りの色分けをする。

◆それぞれの意見に賛成する理由を知るために、意見交流をさせる。

【話し合い】

◆3人ともロレンゾのことを心配して対応を考えていることを押さえるために、数人の意見を発表させる。

3 酒場で、ロレンゾを疑ったことを言えなかった3人の気持ちを考える。

◆かしの木の下で話し合ったことを、酒場では3人とも口にしなかった気持ちを考えさせるため、疑ったことを言えな

○自分が、ロレンゾの友達だったら、3人のうちどの考えに賛成(近い)か理由を付けて考えましょう。

(アンドレに賛成)

・警察に知らせるのはかわいそうだから。

(サバイユに賛成)

・友達の気持ちを大切にしたいから。

(ニコライに賛成)

・きちんと罪を償ってほしいから。

●付箋の色を見て、考えの違う人と意見交流をしましょう。付箋が同じ色の人でも、心のものさしの位置が違う人とも意見交流をしましょう。



私は罪を償ってほしいから、ニコライの考えに賛成です。



私は本人の気持ちが大切だと思うから、サバイユの意見に賛成にしたよ。○○さんは？

●アンドレの考えは、警察に言うのはかわいそうということですが、誰のことを思って行動しているのでしょうか。

・ロレンゾのことを思っている。

●サバイユの考えは、本人の気持ちを大切にしたいからということですが、誰のことを思って行動しているのでしょうか。

・ロレンゾのことを思っている。

●ニコライの考えは、罪を償ってほしいということですが、誰のことを思って行動しているのでしょうか。

・ロレンゾのことを思っている。

3人共、ロレンゾのことを考えて、行動している。

○かしの木の下で話し合ったことを、酒場では3人とも口にしなかったのは、どうしてでしょう。

・友達を疑ったことは悪いと思ったから。

・ロレンゾが疑われたことを知ったら、気まずくなるから。

・友達を信じていなかったから。

・本当に罪を犯していたらどんな行動をするべきだったか考えていたから。



自己の考えを広げ、深める

かった気持ちを考えさせる。

4 実生活での例を挙げ、友達のためにどのように行動したらいいか考える。

◆資料と実生活を結び付けて考えさせるため、考えをワークシートに記入させる。

【話し合い】

◆ホワイトボードにグループの意見を書かせる。

◆資料と関連を図るために、ホワイトボードを貼るときは「アンドレ」「ニコライ」「サバイユ」の心のものさしの配置と対比させて貼る。

◆考えを共有するために、意見を代表に発表させる。

◆班の意見として出なかった意見も大切にするため、別の意見の何人か発表させる。

5 今後の生活に生かしたいことをまとめる。

【書く活動②】

○友達がペンを取ったという噂を聞きました。そのとき、あなたならどうしますか。

- ・確認をする。
- ・友達に事情を聞く。

○友達に確認したら、そのことを認めました。あなたは、友達のためにどのように行動しますか。

○グループを作って、お互いの考えを出し合い、まとめましょう。

- ・親に正直に話すように言う。
- ・先生に報告をする。
- ・正直に話すように勧め、もし話さなかったら事実を先生に知らせる。
- ・何か事情があるだろうから、黙っておく。

●黒板に貼りに来る人は、3人の考えの「アンドレ」「ニコライ」「サバイユ」の心のものさしの配置と同じところに貼ってください。



●ここには出なかったけど、他の考えがある人は発表してください。

○今までの自分の生活を振り返り、本時の学習で学んだことや今後の生活に生かしたいことはどんなことですか。

- ・本当の友達なら、噂だけを信用しないで、自分で確認する。
- ・本当の友達なら、ちゃんと相手と向き合って話をする。
- ・本当に友達のためになることは何なのか考えて行動する。

確認したら・・・

「ごめん・・・盗った・・・。」と言いました。

あなたは、「友達のために」、どのように行動しますか。

いつも教室で使っている、ペンがなくなりました。先生は、すごく慌てて困っています(ノド)

その日の昼休み、あなたの友達のアさんが、お金を盗んだという噂を聞きます。

これからの自分

[授業のまとめ]

- 「自己を見つめることができたか」について
 - ・導入で、友達に関するアンケート結果を提示することで、授業の意識付けを図りました。今回の授業は、“友達のためになること”をテーマとして行ったので、本当に“友達のためになること”ことはどのように行動することなのか、考えるきっかけになりました。
- 「自己の考えを広げ、深めることができたか」について
 - ・今回は、2つの場面を取り入れました。1つ目は、資料を通して、ロレンゾが家に来た時の対応を考える場面です。ここでは、自分がロレンゾの友達なら、“友達のために”どのように行動したらよいか、まずは心のもさしで立場をはっきりとさせ、理由を考えさせました。その後、立場の違う人や同じ立つ場でも考えが違う人との意見交流を行うことで、自己の考えを広げ、深めることができました。2つ目は、実生活で、教室のペンがなくなった場面です。「友達がという噂を聞いたら、どうするか」という質問には、「確認をする」と答えました。その後、友達がペンを取ったことを認めたら、「あなたは“友達のために”どのように行動しますか」と発問しました。その後、自分の考えを班で共有し、それぞれの意見をまとめさせました。この過程で、自分の考えを班員と共有しただけでなく、意見をまとめるための話合いや集約する活動を通して、自己の考えを深め、広げることができました。
 - ・反省点として、全体での共有の場が出た意見への切り返し、ホワイトボードに出た意見と違った意見を考えた生徒の紹介を丁寧に行い、意見交流を深めるべきだったと考えます。
- 「これからの自己を考えることができたか」について
 - ・ほとんどの生徒が、“友達のためになること”について、「間違っことはダメ！と言う」など、前向きに考えており、“友達のことを思って”行動することの大切さを書いていました。また、“友達のためになること”とは、単に優しくすることや相手が喜ぶことをすることだけではないことにも気付いた生徒も多くいました。特に、実生活の場面を考えるときは、身近な問題を取り上げ、適切な行為の選択を考え、よりよく生きていこうとする道徳的実践につながったと考えます。